留年又は修業年限超過理由書

《学生記入欄》　※学生は裏面をよく読み、下の枠内を記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学部・研究科等 | 学　籍　番　号 | 氏　　　　名 |
|  |  |  |

**１．就学状況**現在所属している学部又は研究科の在学過程について、記入してください。（　　）学年　　→ （　　）学年　　→ （　　）学年 　→ 　（　　）学年　 → 　（　　）学年 　→ （　　）学年

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　年度 | 　　　　年度 | 　　　　年度 | 　　　　年度 | 　　　　年度 | 　　　　年度 |
| 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

枠内には、「出席」「休学」「留学」（※休学中の留学は「休学」）「仮進学」のいずれかを記入してください。**２．理由**留年、休学、修業年限超過等の理由について下記項目から選択し、具体的な理由を記入してください。※病気が理由の場合、医療機関等の発行する診断書の提出が必要となります。◎ 留年・残留・仮進学（ 1.病気※　2.留学　3.その他〈　　　　　　　 　〉）◎ 休学　　　　　　　（ 1.病気※　2.留学　3.その他〈　　　　　　　 　〉）◎ 修業年限超過　　　（ 1.病気※　2.留学　3.大学院学生の論文作成　4.その他〈　　　　　　　 　〉）（具体的な理由）　　理由が複数ある場合は、それぞれについて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

※学生記入欄を作成してから、教員に記入を依頼してください。※本書の提出方法については、申請要領p.5を参照してください。 |

《教員記入欄》　※裏面をご一読の上、下の枠内をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **３．指導教員等の所見**上記の理由により、申請者の留年又は修業年限を超えたことがやむを得ないものと認める。（追加の所見がありましたら、以下に追記してください。）

|  |
| --- |
|  |

　　　　　　　年　　　月　　　日指導教員又は㊞それに代わる教員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**留年又は修業年限超過理由書の作成について**

　**留年者、修業年限超過者、残留者及び仮進学者は、原則として授業料免除の対象としませんが、理由により認められる場合があります。**留年等した者が授業料免除の対象とするかどうかについて、この様式７「留年又は修業年限超過理由書」を基に審議されるため、具体的に作成してください。

なお、「留年」とは同一学年にとどまることをいい、「修業年限超過」とは出席期間が正規の修業年限を超えることをいいます。

**１．就学状況について（学生記入）**　《記入例》学部生の場合

（１,２ ）学年　　→ （ ３ ）学年　　→ （ ３ ）学年　　→ （ ４ ）学年　　→ （ ４ ）学年　　→ （　　）学年

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **2016～17** 年度 | **2018**　年度 | **2019**年度 | 　**2020**年度 | **2021**　年度 | 　　　　年度 |
| 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 | 春・夏 | 秋・冬 |
| **出席** | **出席** | **休学** | **休学** | **出席** | **留学** | **留学** | **出** | **休** | **出席** |  |  |  |

**２．理由について（学生記入）**

留年・修業年限超過等の理由について、項目から選択し、具体的に理由を記入してください。

「病気」の場合は診療期間・病状等を、「留学」の場合は期間・留学先等を、「大学院学生の論文作成」の場合は研究テーマ・進捗状況等を記入してください。なお、「病気」が理由の場合は、医療機関等の発行する診断書を添付してください。

**2021年度の卒業又は修了を予定していた者が、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた資料収集やフィールドワークが困難になるなど学業・研究計画等に支障をきたした結果、2021年度中の卒業又は修了が困難となり、やむを得ず2022年度に修業年限を超過して在学する場合、特例措置として2022年度に限り修業年限超過の原則によらず免除対象として認めることがあります。**

**特例措置による申請を検討する場合は必ず事前に学生支援課に問い合わせてください。事前相談のない場合は免除対象として認められません。（ただし、休学期間を除いて修業年限超過1年目で、超過理由が「病気」「留学」「大学院学生の論文作成」のいずれかの者は事前相談不要。）**

**指導教員等　各位**

　「３．指導教員等の所見」につきまして、学生本人が記入した理由により、留年や修業年限超過等がやむを得ないものと認める場合は、日付を記入し、署名・捺印の上、学生に渡してください。学生記入の理由にさらに追加の所見がありましたらご記入ください。特に修業年限超過2年目以降の学生については、審議のために確認する場合がありますので、研究の進捗状況等詳細をご記入願います。

|  |
| --- |
| ■　留年・修業年限超過しても授業料免除の対象として認められる場合がある事例　Ⅰ　病気・長期療養の場合　　　・単位修得試験の当日の病気により単位修得が出来なかった場合・休学期間に満たない期間の病気のために単位修得が出来なかった場合Ⅱ　留学　　（ただし、本来の学業修得のため真に有益であるとは認められない留学や留学期間が概ね半年未満の留学は除く。）Ⅲ　大学院学生で論文作成のため研究継続中である場合（学部学生の卒業論文作成は除く。）Ⅳ　その他・出産・育児中の場合・国や地方公共団体等の求めで、公共的な事業に参加した場合・学資負担者の不在や被保護世帯のため、学業と並行して学資獲得のためのアルバイト又は常勤の職業に就いた場合・本人が障害者である場合**※Ⅱ、Ⅲによる留年又は修業年限超過は、超過時点から通算1年間までを対象とする。**■　留年・修業年限超過して授業料免除の対象にならない事例　単なる単位不足、国家試験等の受験、大学院の受験、就職活動、大学院学生の超過２年目以降の論文作成、その他自己都合 |